

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (甲信越)	◎	*	*	*
	○	百貨店（営業担当）	それ以外	・高額商材が売れ始めているが、富裕層と2極化している。富裕層は高額な物をたくさん買っている。景気は良くなっているのだろうが、全体的に良くなっているほどではない。
	○	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・段々と暖かくなり、冷たい物の消費量が伸びている。アイスクリームやアイスコーヒー等は、売上が若干アップする材料になっているため、良いことである。
	○	スナック（経営者）	来客数の動き	・緩やかに改善している。全体的にも空き店舗が減って新しい飲食店が増えているため、個人店で感じる以上に改善しているのだとみている。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・8月に行われる花火大会用に、花火観覧席として1人2万円ほどで販売したところ、6月中に300席が完売した。今までは開催1か月前に完売したことはなかったが、1度告知ただけで、既に完売となっている。高単価の商材が売れている。
	○	通信会社（社員）	販売量の動き	・新しくサービス提供エリアが拡大し、新規契約者の絶対数は増加傾向にある。
	○	観光名所（職員）	来客数の動き	・観光客の増加により、乗り物の運賃、飲食、土産物の販売額もおおむね良好である。
	○	その他レジャー施設 [ボウリング場]（経営者）	来客数の動き	・団体予約、企業コンペは、新型コロナウイルス感染症発生前とまではいかないものの、以前より増えてきている。それに伴って一般客も増えている。
	□	商店街（代表者）	販売量の動き	・当店は、今は学校販売、学校指定の物の注文販売が主体のため、景気が良いとか悪いとかいうことは別に、前年並みには売れているので、そういう点は有り難い。
	□	一般小売店 [家電]（経営者）	お客様の様子	・相変わらず商材の動きは良くない。定額減税やボーナス支給も地方では話題にもならない。値上げ報道ばかりだが、買い急ぎ、買いだめの様子すらみられない。
	□	スーパー（経営者）	来客数の動き	・来客数は安定しており、単価上昇や買上点数減少に変化はない。
	□	スーパー（経営者）	競争相手の様子	・前年比では売上は1%増加、来客数は2%減少となっている。保育園、病院、銀行等への外販は順調だが、6月はイベントがやや少ない。月末は土曜日は忙しくないが、日曜日は隣の地区の運動会から例年同様に多くの弁当注文を受けている。
	□	スーパー（店長）	販売量の動き	・買上点数は前年を割っており、客は価格相場や値上げ状況を見て、まとめ買いや割引日を意識した買い方をしている。この状況は年度初めから変わっていない。
	□	スーパー（副店長）	お客様の様子	・売上、来客数の前年比をみても前年割れはしていないが、決して大きく伸びていることもない。
	□	コンビニ（店長）	来客数の動き	・今月はかなり天候の変化が激しかったが、それに応じて売上は変化せず、読みどおりの状況にはならなかった。よくも悪くも微妙で、ならずと余り変わらない。
	□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新型イベントが乏しいことから、新車受注は伸び悩んでいる。
□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・物価高騰や国内大手自動車メーカーの不正問題の報告等から、車両購入は様子見とみられなかなか商談がまとまらない。車検、一般整備等のサービス部門は目標をクリアしている。	
□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・商談があっても、納車までに時間が掛かっている。	
□	自動車備品販売店（従業員）	単価の動き	・物価が高止まりしており、消費を抑えたいという傾向が強くと、客単価は低下傾向が続いている。	

	□	その他専門店 〔酒〕 (店長)	お客様の様子	・週末に売上が集中しがちである。当店は酒店だが、飲食店も一般個人客もその傾向である。諸物価の高騰から、一般客が飲食店に行く回数は恐らく減っていて、昔よりメリハリがあり、余り夜遅くまで出歩かないというのは地方でも顕著になっている。
	□	スナック (経営者)	来客数の動き	・あつという間の1か月で、いつも同じ回答になる。景気が良くないことは承知しているだろうが、本当に良くない。もうこれ以上悪くならないように、変わらないという判断である。
	▲	商店街 (代表者)	来客数の動き	・梅雨入りの遅さといった異常気象もさることながら、中心街を歩く人影がない。中心街の店舗に魅力がないとも思えないが、打つ手なしである。
	▲	商店街 (代表者)	お客様の様子	・ゴールデンウィーク以降、晴天が続き、梅雨入りの遅れが良い方向に動くようにみえるものの、客の購買意欲はみられない。
	▲	百貨店 (経理担当)	競争相手の様子	・駅周辺の再開発に伴い、商業施設がオープンしたため、競合するアイテムの苦戦が強いられている。
	▲	コンビニ (経営者)	来客数の動き	・ピーク時間帯の来客数が減っている。雨が降ると、高齢の客はかなり減少する。
	▲	コンビニ (経営者)	単価の動き	・来客数は前年を上回っているのに客単価は上回らない日が多く、節約していると見て取れる。物価高にもかかわらず、客単価が下がっていることに驚いている。定額減税の恩恵は全くもってみられず、これから先の景気が良くなるとは余り思えない。
	▲	コンビニ (エリア担当)	来客数の動き	・夕方から夜間の来客数減少が著しい。
	▲	観光型旅館 (経営者)	販売量の動き	・今年の6～7月にかけて、当社の1番の売りである露天風呂の改修工事をしているため宿泊は多くないが、それを差し引いても団体旅行に動きは見られない。
	▲	都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・今月に入り、明らかに個人客の利用が落ち込み始めている。生活費が毎月上がっていくことで、外食やぜいたくとみられる支出を減らしているようである。ランチタイムはさほど変化はないが、ディナータイムの利用客は明らかに減少している。
	▲	旅行代理店 (副支店長)	来客数の動き	・少しずつ来店客が減少している。物価高の影響もあり、旅行代金も上昇しているためか、客は足踏み状態である。半導体関連企業の低迷や自動車業界における下請受注の減少による影響もみられ、旅行をちゅうちょしているとみられる。
	▲	遊園地 (職員)	来客数の動き	・土日祝日にイベント等を開催したが、前月に引き続き、3か月前の春休み期間と比較して来客数が落ち着いている。
	▲	ゴルフ場 (経営者)	来客数の動き	・物価高で可処分所得が減るなか、レジャーへの振り分けが減少傾向にある。
	▲	ゴルフ場 (副支配人)	来客数の動き	・来場者の半分ほどは、原材料価格上昇分を価格に転嫁しきれていない。
	×	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・物価高の影響で、消費がかなり落ち込んでいる。
企業 動向 関連 (甲信越)	◎	*	*	*
	○	窯業・土石製品 製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・製品受注や自社製品の販売動向は共にやや上向きである。
	○	建設業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・受注状況は変わらず、順調に推移している。
	□	金融業 (調査担当)	取引先の様子	・製造業の回復が遅れているほか、非製造業は電気料金の上昇によるコスト増加の影響等により、持ち直しに弱さがみられる。
	□	金融業 (経営企画担当)	取引先の様子	・観光客が増加し、観光業は活発化している。しかし、物価高騰に伴い、食品や物品等の購入を手控えていると考える。
	▲	食料品製造業 (営業統括)	受注価格や販売価格の動き	・出荷数量、来場者数共に前年並みに推移しているが、諸物価の上昇によって、利益は減少している。

	▲	その他製造業 [宝石・貴金 属] (経営者)	受注量や販売量 の動き	・ 今月開催された催事の売上、来場者数は、前年とほぼ横ばいである。しかし、製品価格の高騰から顧客の購買意欲を喚起できず、購入者数、販売数は減少している。また、経費も増加しているため、収益は前年度より20%ほどダウンしている。
	×	食料品製造業 (製造担当)	それ以外	・ 前々月によく値上げをしたところだが、もう原材料と主力の資材の値上げ話が来ている。これでは全く利益は出ない。
	×	電気機械器具製 造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・ 量産の合間の時期で、劇的に仕事量が減少している。1種類だけでなく数種で減少している。
雇用 関連 (甲信越)	◎	—	—	—
	○	—	—	—
	□	人材派遣会社 (営業担当)	求職者数の動き	・ 雇用条件等を変更しても求人が全く集まらない一方、求職者側も数社の面接等を受け条件に合うものを探している。今後も同じような状況が続くだろうとみている。
	□	求人情報製作会 社 (総務担当)	求人数の動き	・ 人材不足でも求人を出さず企業が少ない。
	□	職業安定所 (職 員)	周辺企業の様子	・ インバウンドや国内旅行、大人数での宴会や会議の回復により、観光、宿泊、飲食、交通輸送等は順調に推移しているとみられる。ただし、人手不足やエネルギー価格、諸物価の上昇の影響を考慮した場合、必ずしも景気が良くなっているとは言い難い。
	▲	職業安定所 (職 員)	求人数の動き	・ 主力産業である製造業の求人の持ち直しが遅れている。
	▲	民間職業紹介機 関 (経営者)	求人数の動き	・ 円安等の不安定要素から、求人を手控える傾向が出始めている。
	×	—	—	—